

ふるさと再生への事業を展開

施政方針

平成26年3月定例会を、3月6日から14日までの会期で開きました。

今回は、平成26年度予算を中心に、条例の改正や補正予算など、提出された28の議案を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。

このうち町の仕事の大部分を占める平成26年度一般会計予算は、総額147億6492万円と昨年度に比べ60.5%の増となり、平成24年度の126億3832万円を上回る町史上最大の予算となります。

歳入は、東京電力広野火力発電所6号機の運転開始に伴い、税収入が増加することから普通交付税の不交付団体になることを勘案しても極めて厳しい財政運営となり、公営住宅建設事業債（借入金）や、財政調整基金（貯金）からの繰り入れによって不足分が補われます。

一方、歳出は、復旧復興に係る除染対策費や町民の帰還促進に係る事業、町民の健康維持増進に係る事業を主とした編成になっていることから町民帰還への生活環境の整備に努めるようにとの意見が多く出されました。

ふる里復興再生、希望の年 広野町復興計画の事業実施へ

平成26年度は、「ふる里復興再生、希望の年」と位置付け、町復興の加速化を図ります。

広野町の再生を目指して策定した、広野町復興計画に掲げた各事業の実現に向けて次の施策を基本に町政運営を進めます。

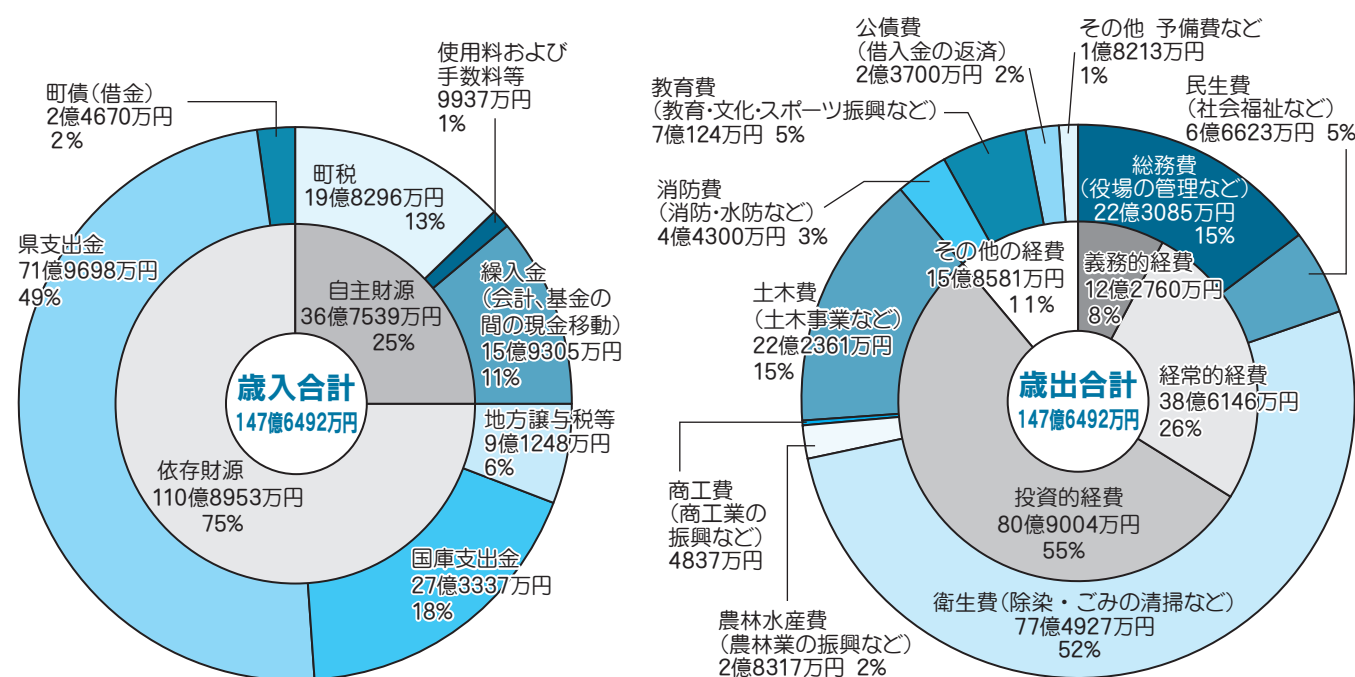


施政方針を述べる町長

- 生活再建のための事業
- 安心を取り戻し、生活環境を整備する事業
- 発展を促進する新しい町づくり事業
- 情報の共有により町民の意見を町政に反映させる事業
- 教育の充実により未来を担う子どもたちを育てる事業

（詳しくは、「広報ひろの4月号」をご覧ください）

平成26年度一般会計予算（147億6492万円）の割合



平成26年度予算額

会計名	平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	147億6492万円	92億25万円	60.5%	全員賛成で可決
特別会計				
国民健康保険	9億8100万円	8億7520万円	12.1%	
土地開発事業	10億3690万円	1億9819万円	423.2%	
公共下水道事業	3億571万円	2億6593万円	15.0%	
農業集落排水事業	3061万円	3066万円	△0.2%	
介護保険	4億5942万円	4億3738万円	5.0%	
後期高齢者医療	4530万円	3934万円	15.1%	
小計	28億5894万円	18億4670万円	54.8%	
合計	176億2386万円	110億4695万円	59.5%	

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。